

ブガッロ＝ウィリアムズ ピアノデュオによるレクチャー・コンサート 「ピアノとその彼方における遊戯と喚起」

2025 年 7 月 4 日（金）18:00 開演（17:45 開場）

会場：国立音楽大学新 1 号館 128 合唱スタジオ

入場無料

通訳：今井 慎太郎（本学准教授）

事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。詳細は本学公式 Web サイトをご確認ください。

～～プログラム～～

“Studies for Player Piano” (1948–1960) arr. for piano duet by Erik Oña and the Duo

..... Conlon Nancarrow (1912-97)

“Jatékók” (from 1973) selection György Kurtág (1926-)

“In the Shadows” (2017)* Amy Williams (1969-)

“Spiel mit dem Unendlichen” (2016)* Caspar Johannes Walter (1964-)

“Bögen” (2016)* Katharina Rosenberger (1971-)

“Together in Perfect Harmony” (2014)* Joseph Michaels (1977-)

* ブガッロ＝ウィリアムズ ピアノデュオのために書かれた作品

～～概要～～

このレクチャー・コンサートは、音楽における「遊戯」とさまざまな「喚起」を一本の糸のように繋いで展開されます。ここでいう「喚起」とは、他の作曲家の音楽、民俗音楽の伝統、そしてジャズやポピュラー音楽の要素を呼び起こすものを指します。

デュオは、コンロン・ナンカロー、ジェルジュ・クルターグの作品、そして彼女たちのために書かれたカスパー・ヨハネス・ヴァルター、エイミー・ウィリアムズ、カタリーナ・ローゼンベルガー、ジョセフ・マイケルズの作品を、1 台のピアノで演奏しながら紹介します。

後半では、エリック・オニャの二つの関連作品「ヨーデルン」（2000 年）および「他の声」（2003 年）に焦点を当てます。これらの作品は、デュオとの緊密なコラボレーションのもとに生み出されました。オニャの音楽は、伝統的なピアノ音楽の枠を超え、楽器の技術的・音響的な可能性を独自の方法で探求しています。

～～講師プロフィール～～

ブガッロ＝ウィリアムズ ピアノデュオ Bugallo-Williams Piano Duo

「驚異的」（サンフランシスコ・クラシカル・ヴォイス）、「圧倒的な演奏」（グラモフォン）と評されるブガッロ＝ウィリアムズ・ピアノ・デュオは、1995 年の結成以来、世界各地で革新的な現代音楽プログラムを披露しています。エレナ・ブガッロとエイミー・ウィリアムズは、ピアノ連弾および 2 台ピアノのための最先端の新作や 20 世紀の名作を演奏し、多くの初演を手がけてきました。D.ラング、L.アンダーソン、L.フォス、T.レオン、B.ランズ、P.エトヴェシュ、S.ライヒら著名な作曲家と直接協働してきたほか、マルチメディア、電子音響、拡張奏法を取り入れた作品にも積極的に取り組んでいます。

彼女たちは、コンロン・ナンカローの《自動ピアノのための練習曲》の編曲プロジェクトを通じて、ピアノ・デュオのレパートリー拡大にも貢献しました。この成果は、デュオおよびソロのためのナンカロー作品集として 2004 年に Wergo レーベルからリリースされ、高い評価を得ました。

1995 年にバッファロー大学大学院在学中に結成されたデュオは、ヨーロッパ、南米、アメリカ各地で演奏活動を展開し、教育機関でのマスタークラスやレクチャーも積極的に行っています。エイミーはピッツバーグ大学で作曲・理論の教授を務める作曲家であり、エレナはバーゼル音楽アカデミーでピアノを教える音楽学者として、ナンカロー研究を専門としています。

※就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※公開講座開催に際しまして留意事項がございますので、本学公式 Web ページよりご確認ください。

※やむを得ない事情により出演者や内容等が変更になる可能性がございますので、あらかじめご了承ください。

※車いすでご来場の方は、事前に演奏芸術センターにお問い合わせください。

主催/国立音楽大学

お問合せ/国立音楽大学演奏芸術センター 042-535-9535 <https://www.kunitachi.ac.jp/>

